

平成 30 年 11 月 14 日(水)三條新聞合流点から

故郷を愛し誇りのもてる村にすることが良識ある議員の役目と思います

拝啓 本多啓三様。弥彦菊まつりには多くの人たちが訪れていますが、駅前からおもてなし広場、門前通りにも大勢の人で今までになくにぎわっています。「弥彦議会はけいぞう劇場化」と合流点に載っていましたので私も一言申し上げます。

一昨年八月の臨時議会¹で弥彦駅前の廃墟となったホテルの解体工事で、弥彦村に本社がある業者とした入札条件に対し、ある二社の実名を挙げて弥彦村に貢献しているにもかかわらず参加できないとし、また弥彦村と良好な関係との入札条件に対しても、談合問題で村を訴えている裁判係争中の村内業者を排除したと批判しました。いずれも入札条件に難癖を付けて否決されました。

昨年五月のおもてなし広場の二期工事²の一括工事の承認を求める臨時議会での否決理由は、落札したのが村外業者だったため、「弥彦に縁もゆかりもない業者」と切って捨て、分割工事で村内業者にさせると否決されました。そのために予算が一千万円以上超過しました。

ホテル解体工事では村外の業者が参加できないと言っているながら、おもてなし広場では村外業者が落札したら、弥彦村に縁のない業者に仕事はさせないと否決したのです。あなたは否決のためなら平気で前言を覆されました。三條新聞はこのときの村長の発言内容を、おもてなし広場について「うまくいくなと思うな」と二人の人物から警告されたと伝えています。これは脅しです。さらに弥彦村のおもてなし広場事業に応援をするなど、新聞コピーを添えて地方創生本部に送りつけた人がいたそうです。こんな妨害は普通の村民はしません。

また、他県の競輪場では外部の視点から監査をして業務改善を図り、収入を大幅に増やして村民のための予算である一般会計に繰り入れています。しかし、弥彦村は外部監査を行ったことはありません。外部監査で問題点を洗い出し対策を立てることは経営者であれば当然のことです。村民の目に触れる機会がなかった競輪特別会計の中身が、三年前から少しずつ明らかになってきました。

村が新潟駅南の烏屋野潟わきに所有した場外売場と民間所有の弥彦競輪場を交換し、平成十八年度から競輪場借りあげ料二億円の支払いがなくなり、経費節減を図ったのに、二億円は毎年どこに入ったのでしょうか³。さらに、ふるさとダービーや G1レース寛仁親王牌を誘致して数億円単位の利益があったのに、これも数字に表れてきません。上司の大谷村長は連続して利益が上がり、救世主となったあなた様も同席した議会で説明しています。競輪事業は最低でも売上の 5%は純益として受け取れるはずなのに、競輪貯金はわずかで一般会計にも繰り入れていません。確実に利益が上がるはずなのに結果が低調であれば、「業務に無駄が

¹ 平成 28 年 8 月 30 日 臨時会 旧弥彦観光ホテル解体

² 平成 29 年 5 月 15 日 臨時会 おもてなし広場フードコート等整備工事

³ 平成 15 年度弥彦村競輪事業収支改善計画から「平成 18 年 4 月から村営開催は村営競輪場で開催できる。これによって収支は大幅に改善し、単年度 2 億 5 千万から 3 億円の収支改善が見込まれる」

多い)、または「適切な帳簿処理」か、その両方に問題があると思うのが村民の感覚ではないでしょうか。

無駄を洗い出す外部監査が六回⁴も否決されました。帳簿操作がバレるとでも言うのでしょうか。適正に処理したと主張されるのであれば、外部監査を認めても何の差し障りはないはずです。拒否する理由を分かりやすく説明してください。ここに挙げた例は、私利私欲や一部業者のためでなく、村の発展のため村民のための対策が拒否されたのです。外部監査を拒否したのはあなたさま筆頭の大將本多啓三、副将本多隆峰、中堅赤川幸子、次鋒小熊正、先鋒田中満男の各議員の五人でした。監督は大※？

普通の村民感覚とあなたたちの感覚の間には大きな隔たりがあります。あたくも村が二分しているかのように言われますが、対立をあおっているだけではありませんか。

あなた様もご承知のとおり、大谷体制下では意見すれば締め付けや排除が、職員はもとより議員や村民にも及びました。記憶がよみがえります。

サイババ問題⁵は村の命運にかかわる一大事した。村長の人脈と行動力に触発された村民が一丸となった結果が、スピード解決でした。

ノーサイドとは、選挙戦の対立を引きずらず、敗者は潔く敗北を認め、村民のための施策に是々非々で対応して、村のさらなる発展のために協力することではないですか。大谷良孝氏は任期満了日の退任あいさつで、四選の夢はかなわなかったが悔いはない。これから一村民として村の発展のため微力ながら貢献できればと語り、かたわらであなた様も聞いておられました。ノーサイドとは大谷体制に戻ることではありません。あれから三年九ヶ月もたってしまいました。

故郷を愛し、誇りのもてる村にすることが、良識ある議員の模範となる行いだと思いますが、間違っているでしょうか。

新たな明るい弥彦村がスタートしてからこれまでの間に、大きな変化が顕著に表れています。トンネルを抜けたときに感じるホッとした安心感が、明るい未来につながるものと確信しています。

今まで見て聞いて感じたことを正直に申し上げましたが、たかが一介の村民のたわ言と切り捨てないで、議員活動の参考にしていただければ幸いです。

(心配性の村民)

⁴ 平成 28 年 6 月 1,000 万円の個別外部監査

平成 28 年 9 月 800 万円の個別外部監査

平成 28 年 12 月 総務費弥彦村経営改善 (競輪事業等) 調査業務委託料 486 万円

平成 29 年 3 月 " 調査業務委託料 450 万円

平成 29 年 6 月 " 調査業務委託料 450 万円

平成 29 年 9 月 " 調査業務委託料 450 万円

平成 29 年 12 月 " 調査業務委託料 450 万円

平成 30 年 3 月 " 調査業務委託料 450 万円

⁵ 平成 30 年 5 月 8 日村は契約保証金 81 万円を返金した。サイババ問題は解決する。